

簡単過ぎる安全対策

誰でも扱える、だから広がる現場の「守る」を変える特許アイテム

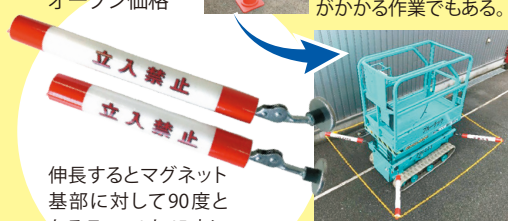
ようじん棒

折りたたみ式注意喚起ポール

オープン価格



カラーコーンとコーンバーによる注意喚起。設置・撤去は難しくはないのだが、地味に労力がかかる作業でもある。



伸長するとマグネット基部に対して90度となるType-1と45度となるType-2の2種類

高所作業車のパーツのように取り付けられた『ようじん棒』なら、たたんであるポールを伸ばして周囲をチェーンで囲むだけ。そのまま移動することも可能だ。



上昇中に障害物に接触するとアラートが鳴る。軽く接触しても、ソフトな素材なので大きなダメージはなし。

専用クランプで取り付けも簡単。しっかり固定できるので、安心して頭上の注意を任せることができる。



あんぜんi棒

オープン価格

高所作業車 挟まれ防止材(特許取得済み)※1



YouTube

動画で見ればひと目で分かる!



お問い合わせ エスアールエス株式会社

大阪府大阪市大正区鶴町1-1-31

ブルーテック事業部 関西営業所 TEL.06-6556-3581



**立入禁止エリアを即座に展開
新発想の『ようじん棒』**

建設現場や工場など、高所作業車を使用する場所では、上空に加えて地上の安全確保も欠かせない。通常はカラーコーンやコーンバーなどで立入禁止エリアを明示するが、そのたびに設置と撤去を繰り返す作業は、想像以上に負担が大きい。そこで同社が開発したのが、注意喚起ポール『ようじん棒』だ。高所作

安全を守るための作業が、時に現場の効率を奪う。建設や製造業界では、そんな矛盾と向き合う日々が続く。深刻な人手不足に喘ぐ現場ではわずかな手間も惜しまれるだけに、悩みは増すばかり。こうした状況に解決策を提示すべく、高所作業車を「舞台」とした2つの安全対策製品が登場。エスアールエス株式会社の発想力が、いま現場から支持を集めている。

業車に直接取り付けられるのが特徴で、強力なマグネットにより簡単に固定できる。取り付けたまま移動でき、折りたたみば狭い通路の走行も可能に。柔らかなウレタン製で、安全速度での軽い接触程度なら問題はなし。さらにプラスチックチェーンを組み合わせれば、視認性の高い安全区画を素早く形成できる。

取り付け場所が鉄ならばどこにでも設置できるので、物流倉庫や食品工場の出入口など、関係者以外立ち入りを一時的に制限したい場合にも最適だ。こうした汎用性が高く評価され、現場で気軽に導入できる安全対策ツールとして着実に浸透。現在までに約3万6000本を売り上げ、人気商品へと成長している。

**頭上の危険を音で警告
特許取得の『あんぜんi棒』**

同社の安全対策シリーズには、もうひとつ『あんぜんi棒』がライン

アップされている。こちらは高所作業車の上昇時、頭上にある障害物との接触リスクをブザー音で知らせる「挟まれ防止材」だ。

上昇中に梁や天井へ接触すると警報音が鳴り、作業者に危険を伝えるというシンプルな構造ながら、現場の安全確保には極めて効果的。素材は『ようじん棒』と同じウレタン製で、万一の接触時にも衝撃を緩和する。また専用クランプによる取付も簡単で、あらゆる高所作業車に対応する汎用性も『ようじん棒』ゆずりだ。

『ようじん棒』と『あんぜんi棒』は、ともにレンタルサービスの取引先から寄せられた「もっと安価で簡単に導入できる安全対策が欲しい」という切実な声から誕生したアイテムだ。開発では、重機用安全ポールメーカーとの協業を通じて、現場で使用される高所作業車を有効に活用する仕様を追求。実地での検証と改良を重ね、現場で求められる使いやすさと信頼性を両立させた。

現場主義の発想から生まれた、目から鱗の実践的アイテム。工事現場や工場、倉庫などはもちろん、アイデア次第で新たな活用方法も見えてくることだろう。好評を受けて、同社では動画投稿サイトにチャンネルを開設し、ひと目で機能が伝わる紹介動画を公開中。こうした情報発信によって認知が広がれば、さらなる普及が期待できそうだ。